

# 宇宙旅行へウキウキ

## 無重力訓練 参加募る

宇宙旅行の提供を目指すベンチャー企業「PDエアロスペース」(名古屋)が今秋、無重力の宇宙環境を再現した訓練プログラムを一般向けに始める。宇宙航空研究開発機構(JAXA)などの協力を得て、無重力状態での体への負荷を体感してもらい、宇宙への興味を高める狙いだ。

### 名古屋のベンチャー



同社によると、同業の米ヴァージンギャラクティックが旅行申込者向けに訓練を行っているが、一般向けは前例がないという。

訓練は二日間。航空機の特務業務を手掛ける「ダイヤモンドエアサービス」(愛知県豊山町)の小型機で、高度九千呎からの急降下を繰り返して、約二十秒間の無重力状態を七回体験。本番を想定してカメラの操作なども訓練する。

さらに、岡山大や愛知医

科大の宇宙医学の専門家の指導に基づき、人間ドック

とストレス検査を組み合わ

せた健康診断を受け、訓練前後の体の変化を調べる。十七歳が対象で費用は八十四万円(税抜き、宿泊費は別)。初回の定員は十四人で八月中旬まで募集しており、九月中旬に訓練を行う。

将来は遠心加速器を使って帰還時にかかる重力加速度の4Gを体感する内容や、宇宙旅行に向けた健康指導の追加も検討する。

宇宙旅行サービスはヴァージン社が先行するが、まだ実現していない。PDエアロは、三菱重工業で戦闘機を開発していた緒川修治さんが二〇〇七年に設立し、現在はエンジンと無人機の開発を進めている。訓練で得られたデータは有人機の開発に生かし、二三年の宇宙旅行の事業化を目指している。

問い合わせは、PDエアロ 電052(621)6

996へ。

急降下した航空機の機内を使った無重力体験「ダイヤモンドエアサービス」提供